

事前質問・意見一覧表

4. 防災力の強化

(1) 防災体制の強化

質問

	内 容	担当課
1	<p>【意見への対応状況：P12 39】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「津波避難ハンドブック」の財源と活用の仕方(住民・事業所)を説明してください。また、どのように津波避難計画を改訂するのか、その内容を説明してください。 	防災危機管理課
2	<p>【施策シート：P1 施策の概要(参考指標の動向)】</p> <p>【施策シート：P6 15】</p> <p>物資供給等災害時における支援協力協定の検証・改定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの機関と協定を締結していることは、災害時に少しでも多くの支援を得るために必要なことと思います。具体的にはどのような内容で、どの程度の支援を得られると見込まれるのでしょうか。 	防災危機管理課
3	<p>【施策シート：P2 01】</p> <p>八戸市地域防災計画の検証・改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の改訂を進めていますが、震災を経た後の大きな変更点等の概要を教えてください。 ・「地域防災計画本編の改訂」のポイントについて簡単に説明願います。 	防災危機管理課
4	<p>【施策シート：P2 02】</p> <p>津波避難計画の検証・改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「津波避難施設整備計画策定業務」の契約を締結としていますが、どのような契約先、契約内容なのでしょうか。 ・「津波避難計画の改訂」のポイントについて簡単に説明願います。 	防災危機管理課
5	<p>【施策シート：P2 03】</p> <p>事業所等における業務継続計画の策定・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPはBusiness Continuity Plan(業務継続計画)の略でしょうか。 ・【実施状況】市役所業務の1行目の業務継続計画のところで(BCP)と付加しておくとう理解しやすいのではないのでしょうか。また、地震編と絞っていますが、津波編の必要性はないのでしょうか。 	人事課
6	<p>【施策シート：P2 04】</p> <p>安全・安心まちづくり推進協議会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が属している町内会は馴染みがあります。記述にある連合町内会という組織はどのような組織でしょうか。 	市民連携推進課 防犯交通安全課

7	<p>【施策シート：P3 06】 総合防災訓練・地区防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を今後定期的に開催する予定はありますか。 ・八戸港の港頭地域(臨海部の工場も含む)での避難訓練開催の計画はありますか。 	防災危機管理課
8	<p>【施策シート：P3 07】 図上防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DIG方式は馴染みが無い方法ですが、興味深い試みです。この取り組みを通して得られた効果や特長を教えてください。 	防災危機管理課
9	<p>【施策シート：P4 08】 事業所における防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公道を使用する避難訓練を実施する場合、消防署のほかに警察への届け出も必要ですが、受付窓口の一本化等手続き簡素化は可能でしょうか。 ・消防計画に基づく訓練の実施が必要な防火対象物数が2,046で、訓練の実施対象物数で消火訓練が825、避難訓練が835とあります。これら数値の関係を教えてください。また、訓練実施率が60%に留まっています。不実施の要因は何か、また、改善方策はあるのでしょうか。 	防災危機管理課
10	<p>【施策シート：P5 11】 津波避難ビルの指定・整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難タワーの整備について、完成まで今後どのような工程になるのでしょうか。 ・津波避難ビル等の指定の際には、休日や時間帯の受け入れについて議論はされておりますでしょうか。 	防災危機管理課
11	<p>【施策シート：P5 12】 小・中学校における防災体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校が危機管理マニュアルを立案しているとあります。想定された以上の被災を受けた石巻市立大川小学校の事例を考えますと、想定される多様なケースへの対応について、現場での立案に加え、第三者の専門的な立場での指導も重要かと思えます。そうした改善活動は行っているのでしょうか。 	教育指導課
12	<p>【施策シート：P6 14】 新学校給食センターの整備検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における食料供給の拠点施設、食料・燃料の備蓄や停電対策などの機能を整備とあるが、備蓄量など具体的な構想があれば、教示いただきたい。 	学校教育課
13	<p>【施策シート：P7 18】 総合保健センターの整備（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸市総合保健センター基本構想（案）をもとに基本構想を策定とあるが、現時点で考えている施設の内容と今後の建設見通しは。 	健康増進課
14	<p>【施策シート：P7 19】 福祉避難所の指定・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定内の「定住自立圏での相互利用」についての意味を教えてください。 	福祉政策課

15	<p>【施策シート：P9 25】</p> <p>災害時における広報体制の検証・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアメールの開始時から現在までの加入状況の推移をお知らせください。 	防災危機管理課
16	<p>【施策シート：P9 26】</p> <p>防災行政無線の増設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の平成25年の増設箇所を教えてください。 ・今後更に防災行政無線の増設予定はありますか。 	防災危機管理課
17	<p>【施策シート：P12 33】</p> <p>東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への波高表示した標識(18カ所)の場所とその内容について関係資料を提示して、具体的に説明してください。 ・震災に関わる情報を後世に伝え、減災を図ることは異論の無いところです。また、市民が多面的な捉え方ができるように震災情報を迅速に入手する方策が求められると思います。これには、例えば総務省が進めるデジタル・アーカイブ事業等との連携を図ることも収集データ活用の点で一案と思われます。収集データの活用という観点から、今後の活用見通しをお聞かせください。 	広報統計課 防災危機管理課
18	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の防潮堤計画見直しで避難対策に変更はないのか。具体的に。 	防災危機管理課

意見

	内 容	担当課
19	<p>【意見への対応状況：P12 44】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線につきましては、引き続き海岸部や河川部への増設をお願いします。 	防災危機管理課
20	<p>【施策シート：P1 施策の概要（参考指標の動向）】</p> <p>災害時の石油燃料優先供給に関する協定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両や公共機関の車両への優先的供給については、理解はするが、そこに携わっている方の自家用車への優先供給についても議論すべき（出通勤の関係）。また、どの範囲までを対象にするのかを検討していただきたい。 	防災危機管理課
21	<p>【施策シート：P3 06】</p> <p>総合防災訓練・地区防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から災害時を想定した訓練は、非常時の取るべき行動の意識付けや課題を明らかにする意味で重要と思います。全市民が意識を高めておくことが望まれます。特定地域での実施ですけれども、そこで得られた知見を広く市民に伝えていくことが効果的だと思います。情報公開等の対応はあるのでしょうか。 	防災危機管理課

22	<p>【施策シート：P5 13】 備蓄品目及び備蓄数の検証・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用救護毛布を350枚頂いてうれしいが、保管場所に苦慮した経験から、大変だと思いますが保管場所対策に取り組んでください。 ・備品についてであります。冬季の震災に備えてポータブルストーブは必要ではないでしょうか。また、温かい物を食べたいという観点で考えるならば、カセットコンロ等の調理器具も必要ではないでしょうか。 	防災危機管理課
23	<p>【施策シート：P8 20】 避難所・避難路サインの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所・避難路サインの整備は進捗状況が目に見えてきたように思う。今後も更なる実施を期待します。 	防災危機管理課
24	<p>【施策シート：P12 33】 東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を伝承し、防災意識を高めるために、被災した実物資料を保存・展示し、防災教育に活かしていくことが必要です。例えば、旧新湊はますか保育園や旧ウォッサンなどを保存し、東日本大震災資料館として活用するために、住民参加で検討(整備計画の策定、財源の確保)を始めてください。 	広報統計課 防災危機管理課
25	<p>【その他】 防災体制の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションに基づく地震津波防災マップの改訂及び公民館(コミュニティ)の場において防災グッズの充実が図られてきている。また、太陽光発電(ソーラーパネル)も随時取り付けが決まっていることも夜間対応及び寒さ対策の上で重要であり朗報である。 <p>ただし、市職員を含め(避難所運営)若手対応の経験値強化が課題である。</p>	防災危機管理課 市民課 国保年金課 環境政策課
26	<p>【その他】 災害発生時の情報収集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災発生時には、停電になり、固定電話や携帯電話が不通になりました。 <p>市民にとっては、正確な情報を入手するために、ラジオや携帯等のワンセグ放送で情報を収集していたと思います。更なる詳しい情報伝達のためにも(危険箇所・被害状況等)市内全域を走っている各社のタクシーから情報収集をすることを提案いたします。そのためにタクシー会社各社・タクシー協会等に、発電機や必要機材を配置して連携をしていただきたい。また、市営バス車両の無線も活用していただきたい。</p>	防災危機管理課 運輸管理課

27	<p>【その他】</p> <p>災害時の一般車両への燃料供給のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災発生時には、多くのマイカーが給油所へ並び、交通渋滞や並んだ者同士のトラブル（喧嘩）が起きた。また、他県では夜中から給油所に並び、エンジンを止めた車内で練炭を使い暖をとり、一酸化炭素中毒等により、数名が更なる犠牲となる事故が起きた。 ・このようなことから、並んで給油した側の意見や給油所スタッフ等からアンケートを実施し、事例を検証し議論していくべきではないだろうか。 	防災危機管理課
----	---	---------

(2) 水・エネルギー対策の充実

質 問

	内 容	担当課
28	<p>【施策シート：P15 05】</p> <p>エネルギーシステム転換の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策シートP14施策の工程「LNG輸入基地計画の推進」の一環となる環境負荷低減のためのエネルギーシステム転換とは、具体的にはどのような目的、転換前後のシステムなのでしょうか。 	産業振興課
29	<p>【施策シート：P16 06】</p> <p>LNG輸入基地計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェブロン社の訪問とありますが、当該企業の活動内容と訪問の目的を教えてください。 	産業振興課
30	<p>【施策シート：P16 08】</p> <p>新うみねこプランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー等導入推進事業を活用し、H27年度まで18カ所の小中学校等へ太陽光発電システムと蓄電池等を設置するとあるが、その効果の見込みは。 	環境政策課
31	<p>【施策シート：P19 18】</p> <p>木質ペレット利活用推進事業（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質ペレット利活用推進事業の応募件数が3基とありますが、その要因は何でしょうか。また、どのような広報だったのでしょうか。 	環境政策課
32	<p>【施策シート：P19 3. 施策を取り巻く課題や論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用エネルギーの効率化及び再生可能エネルギーの普及拡大について、各々に目標値が定められていれば教えてください。 	環境政策課

意 見

	内 容	担当課
33	<p>【施策シート：P16 06】</p> <p>LNG輸入基地計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェブロン、モービルなど、メジャーに対して八戸市がコージェネ推進をアピールするために、電力不足等に対してガスコージェネの研究や推進をするべきでは。 	産業振興課

34	<p>【施策シート：P17 09】 環境教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3～4年生の中にも「発電に関する」自由研究をテーマに捉えている児童があると同っている。良い意味でエネルギーの対策の取り組みは、児童にも考える機会を与えているのではないか。 	環境政策課
----	---	-------

(3) 災害に強い地域づくり

質 問

	内 容	担当課
35	<p>【施策シート：P22 04】 災害に強い地域コミュニティづくりの推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施した災害に強い地域づくり会議の開催状況とその地域の課題は。 	市民連携推進課
36	<p>【施策シート：P23 05】 自主防災組織の結成促進や活動支援・リーダー育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が順調に結成され全国平均を上回る実績をあげていることは評価されます。今後この数値のさらなる向上を図ろうとした際に、市民として求められることは何でしょうか。 	防災危機管理課
37	<p>【施策シート：P25 11】 文化財の保存・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産推薦書協議案、保存管理体制の検討について関係資料を提示して、具体的に説明してください。また、今後の予定(世界遺産登録関係)で、庁内連絡会議の開催、包括的保存管理体制の構築、国際的合意形成に係る業務について具体的に説明してください。 	社会教育課 是川縄文館
38	<p>【施策シート：P25 12】 是川縄文の里の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定(保存管理計画の策定)について関係資料を提示して、具体的に説明してください。 	是川縄文館
39	<p>【施策シート：P26 14】 八戸市体育館の改築の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸市中心部に必要な防災拠点としても早期に整備が必要と思われるが、具体的にどこまで進んでいるのか。 	スポーツ振興課
40	<p>【施策シート：P27 20】 県外避難者の受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25.4.1現在の県外避難者は、計276人(111世帯)であるが、震災後から今日までの避難者数の推移は。 	防災危機管理課
41	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者の孤独死について、その後の対策と現状について教えてください。 	福祉政策課 健康増進課

意見

	内 容	担当課
42	<p>【施策シート：P25 11】</p> <p>文化財の保存・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文遺跡群世界遺産登録に向けて、はっちを起点とした長七谷地貝塚と是川遺跡を巡るバスツアーを定期的実施するとともに、観光課や旅行事業者と連携して種差海岸と合わせて旅行パッケージとして観光客向けに開発してください。これらのジオツーリズムを継続し、地域の持続可能な経済開発を行うために庁内連絡会議を開催し、官民協働の仕組み(組織)を構築してください。 ・昨年度の質問、意見等について実施報告がなされ、その状況から今後の予定業務に期待します。 	<p>社会教育課 是川縄文館</p>
43	<p>【その他】</p> <p>災害に強い地域づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域それぞれに合った体制作り強化は推進すべきものではあるが、過ぎるのめいかなものかと考えている。(例：年2～3回の避難訓練。金銭面、勤務、集合場所への移動手段等) <p>ただし、これはその地区自治会で解決すべき問題ではあるが、閉口している人もいることを知ってほしい。</p>	<p>防災危機管理課</p>

その他

質問

	内 容	担当課
44	<ul style="list-style-type: none"> ・県の防潮堤の見直し計画案及び八戸市の見解についてお知らせください。 	<p>防災危機管理課 港湾河川課</p>

意見

	内 容	担当課
45	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災から3年目の再生期では、個別の事業(完了・継続)を総合的・一体的に推進する官民協働の仕組みが必要です。特に防災教育と観光振興に関する事業については、ある組織が県外の修学旅行生や海外の観光客向けに体験・学習型パッケージを戦略的に広報することが必要と思います。 <p>そのために、各部局で行っている事業(防災教育活動、グリーンツーリズム、エコツーリズム、ジオツーリズム、世界遺産候補地ツアー)を総合的・一体的に推進する連絡会議を庁内に設けるべきと思います。すでに八戸市は、世界ジオパークを目指している三陸ジオパーク推進協議会に加盟しており、これらをジオパークの自主事業に位置づけ、官民協働で推進するために庁内に事務局を設けて協議し、戦略的に実施する仕組み(組織)を構築すべきと思います。</p>	<p>防災危機管理課 観光課 教育指導課</p>